

第8期平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会（第2回）

■日時：令和2年7月21日（火）午後1時30分から

■場所：プリズムへぐり 2階 会議室1・2

■出席者：松田美智子会長、神矢副会長、松田充隆委員、泉谷委員、井戸委員、稲月委員、
福田委員、岡委員、新名委員、中田委員、中谷委員、宮園委員、日高委員、
岡田委員、西林委員

■欠席者：山口委員

1 開会

事務局：（開式挨拶）

2 委員長挨拶

委員長：（挨拶）

3 議事

（1）第8期平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について

委員長：それでは本日の議事に入る前に第1回の議事録について訂正がありますので事務局から説明をお願いします。

事務局：（訂正事項について説明）

委員長：ありがとうございました。失礼致しました。

では、本日の議事に入ります。（1）第8期平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について事務局をお願いします。

事務局：（資料1に基づき説明）

委員長：ありがとうございました。ただ今のご説明に関して、何かご質問ありますか。よろしいですか。質問がないようですので、次の議事へ進ませていただきます。

（2）調査・アンケート内容について

委員長：（2）調査・アンケート内容について、事務局より説明をお願いします。

事務局：（資料2、資料3、資料4に基づき説明）

委員長：ありがとうございました。ただ今の説明で、何かご質問等ございますか。

井戸委員：アンケートですが、時々、苦情をいただいています、町から届くアンケートの内容が難しすぎて読めないというのをよく聞きます。特に高齢になってくると、22ページあって、それも結構漢字が多いですし、どうなのかなと。実際やってみないと分からないですが、ただ、返信率は下がるのかなという気がします。少し簡略化したほうがいいのかと思うのですが、いかがでしょうか。

委員長：事務局よろしいでしょうか。

事務局：すみません。今、井戸委員からご指摘いただいたのは資料2の関係かと思います。

22ページにまたがっています。前回16ページでしたが今回22ページになっております。理由としましては、国の必須項目が増えた関係で、増えている部分もございいます。字の大きさは変えづらいですし、必須項目の赤字、オプションの青字部分につきましては、これは国の一定の基準がありますのでなるべく入れたいと思っております。黒字の項目で簡略できればと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長：調査票は原寸大でこのサイズで送られるのですか。

事務局：はい。

委員長：これぐらいあった方が、サイズの的には見やすい気がします。他に何かご質問ありますか。

私から1点よろしいでしょうか。5ページのからだを動かすことについて、外出を控えている理由のところですが、今年、これまでと違うコロナの影響が考えられます。例えば私は町民ではないですが、明らかにコロナの為に外出を控えています。その他に書いてもらったらいいかもしれないですが、ウイルス感染症の状況の項目も1つあってもいいのではないかという気がいたしました。意見として申し上げておきます。

他いかがですか。

井戸委員：実際どんな感じでしょうか。僕が知っている限りでは、文章が長いというだけで、読めない、読まないという人が多くいます。うちの親ですら、電気製品の説明書すら読む気にならないぐらいなので。つい先日、難しい内容がきて、こんなんどうするの？という苦情が来ました。僕もしんどいです。その方は比較的若い方でしたが、もっと年配になると重々気持ちが分かるだけに、あくまで年配の方目線になるかもしれないですが、面倒くさくなってしまうので、もちろん国からきている以上、仕方ないというのはありますが、ボランティアですし、読むのが大変、というのはよく聞きます。

委員長：前回の回収率は分かりますか。

事務局：前回は1,652名を対象にアンケートをお送りし、回収率は69.8%、1,153名からご回答いただきました。

委員長：こういった調査で、60%を超える回収率があるということは決して低いとは言えないように思います。

井戸委員：すみません、すごいと思います。

委員長：他に何かございますか。それでは、多少なりとも省けるところがあるかどうか検討は事務局に委ねるということで、次の議事に進みたいと思います。

(3) 新たな交通手段導入検討のためのアンケート集計報告について

委員長：（３）新たな交通手段導入検討のためのアンケート集計報告について、事務局より説明をお願いします。

事務局：（資料５に基づき説明）

委員長：ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

井戸委員：再募集はお考えでしょうか。１つ気になったのが、このアンケート調査を集めるにあたっては郵送ですよね。平群町で残念なのは、ポストが少ないですよね。これを見ている限りでは、若葉台が多いのはすごいなと思ったのですが、例えば若葉台３丁目の方だと、ポストまでの距離が遠すぎて、アンケートに参加できないのではないかと。私の周りでも実際数えたんですが、その半分の距離の自治会館まで行ける人が半分もいないです。歩いてか、誰かに車に乗せてもらうにしても、小地域ネットワークですら参加が難しいという方が多い中で、本当に坂が多いので、バス停まで行けないことが多いのですが、更に、ポストがバス停より遠いんですよね。若葉台に１箇所しかないです。もちろん、高齢化率が関係するとは思いますが、「もう少し集め方が」、「いい方法があればいいのに」と思います。もちろん、難しい課題だとは思いますが、郵送が一番、手間もかからないですし、行政側も楽とは思いますが、何かいい方法があればと。私の知り合いや近所に聞いてみても、本当に行けない方が多いです。

委員長：何かご説明いただけますか。お願いします。

事務局：すみません。再度アンケートをしないのかということでもよろしいですか。

井戸委員：追加で集める方法が何かあるのか、ですね。

事務局：今回は郵送で実施させていただきました。時間に限りがあったということと、先程、委員もおっしゃっていただきましたように、できるだけ負担のかからない実施方法ということになりますと、通常、こういったアンケート調査ですと、郵送での回収にさせていただいて、料金受け取り人払いで料金がかからない方法で回収率を上げるということを目指して実施させていただいたところでございます。思った以上にたくさんの方、半分以上の方にお答えいただいております、高い回収率を得たと思っておりますし、まだ返ってくる分もありますので、今回はこれでの集計でまとめさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員長：よろしいですか。

井戸委員：おっしゃることは重々分かっています、その通りだと思うのですが、例えばですが、民生委員さんや自治会の方、班長さん等に協力いただいた地域福祉計画策定の際は、たしか８割以上の返答がきていましたね。ですから、そう考えると、自治会さんがOK出すのかも分からないですが、なにか投げかけてみるのも、ポイントなのかなと思います。長寿会さんの力をお借りする等、集められる所で集める等、どうなのかなとふと思いました。

委員長：追加の対応が必要ですか。

井戸委員：そういう気がします。何故こういうことを言うかということ、一番ニーズがあるの

は、ポストに行けない方なので、そういう意味で、言わせていただきました。

稲月委員：関連で、地域別の回答数を見せてもらっての質疑ですけども、西山間地域、今、井戸委員のおっしゃっている、郵送ということになるとポストがないと、確かに西山間地域というのは、ポストがないんですけども、その辺で非常に回答率が悪いかなと思います。元々人口もそれほど多くはないですが、福貴畑でいえば80軒以上ある訳で、高齢者の方もたくさんいらっしゃいます。そしてまた、交通機関がコミュニティバスだけという、状況が悪い所です。信貴畑は3件返ってきていますけれども、やっぱりその辺の、一番公共交通の問題では、大変な思いをしておられる所の回答が少ないというのも、テコ入れする必要があったかなということをおもっています。

事務局：すみません。今3ページをご覧いただいたお話だと思います。大変申し訳ないのですが、207件の集計結果ということで、残りまだ3,500人の方の集計が残されておりますので、まだ全ての回答を得ての結果ではないので、申し訳ありませんが、次回の報告までお待ちいただきたいと思っております。

委員長：よろしいですか。

岡委員：お伺いしたいのですが、7,270出して、3,768返信でほぼ半分で、従来から比較して回答率が非常に悪いですね。一般的な回収率からしたら50%ってたらいいのかもしれないですが、しかも7月20日で締め切っている。これからどれくらい回収できると思っておられますか。

委員長：だいたい50%くらいが平均ではないでしょうか。それは、地域にもよりますがどうでしょう。

事務局：一応、期間を17日までの2週間ということで指定させていただいていますが、これは申込みでも、申請でもないので、集計ができる限り、例えば9月の下旬に報告させていただくのであれば、下旬のギリギリの回答もひとつの答えとして入れさせていただいて、ご報告させていただきます。

岡委員：これは特殊なアンケートだったので、誰が来て誰が来てないのか想像できるのではないかと思います。これから来た分も締め切らず、データとして採用するということですね。それから緑ヶ丘とか若葉台とか、この辺が多いというのは、デマンドを利用したいというニーズが高い反映だと思います。旧大字は非常に少ないということは、家族構成からみて、家族の誰かが送迎してくれるというのが、従来からのしきたりとしてある訳です。回収率が低い所は、必要ないと考えている方が多い表れではないでしょうか。私なんかはこういうのを見たら大賛成なのですぐ出します。あと一つ、フレイルの調査ですが、5項目のうち3項目が該当すればフレイルであるというふうに思っておりますが、それで良いのでしょうか。基本的にこのアンケートでフレイルの範疇にあれば、よっぽどのことがない限り、このデマンドタクシーを利用できると考えてたんですが、違いますか。今の段階ではフレイルがよく分からなくて、どういう仕組みなのか、分かれば教えていただけますか。

委員長：よろしいですか。

事務局：フレイルについてでございます。5つの質問をさせていただきまして、そのうち3つ以上に該当された場合は、フレイルに該当されるというふうに思っております、その方が必ずデマンドの対象になるかということでございますが、対象になられると考えていただいて結構かと思えます。先程申し上げましたように、今回このアンケート調査でこの項目を設けさせていただきしたのは、今このアンケート調査に回答していただいた方の中で、フレイルの方がどれくらいいらっしゃるのかを判断したいがために、入れた項目でございますので、該当になればその方々はデマンドタクシーの利用対象者になるということでご理解をお願いします。

委員長：他によろしいでしょうか。

岡委員：ありがとうございます。良く分かりました。

岡田委員：すみません。少し議論が噛み合っていないように感じるのですが、これは207通のアンケートの結論を出している訳でしょう。既に回収している分だけでもあと3,500ここに足さないといけない訳でしょう。ということは、議論的に言えば、若葉台が一番少なくなる可能性だってある訳です。なので、この表を見て、どうかと言うことをいくら議論しても何の価値もないと思います。そこは少し、勘違いがあるのではないかと言う気がします。実はこのアンケートを私も出したのですが、アンケートは本当に短時間で簡単に書けます。その日にすぐポストに入れましたが、アンケートによって、随分回収率は変わると思えます。最初に話が出ていましたが、項目がすごく多いと、文字数が多いと、回答が大変になるということもあるので、アンケートする側は、だいたいこのアンケートだったら、一般的にはどの程度回収率があるのか、あるいは、平群ではどの程度の回収率を見込んでいたのかというのが、まったく今までのお話しにはなかったもので、この51.8%という今の段階での数字を事務局としてはどのように考えておられるのかが大事かと思えますので、よろしくをお願いします。

委員長：回収率についてのご質問ということでよろしいですか。

岡田委員：はい。

事務局：回収率について、事務局として今どのような捉え方をしているかについてのご質問ですが、色々計画の策定に携わったことがございまして、計画にはアンケート調査がつきもので、たくさんアンケート調査を実施して参りました。今回のアンケート調査につきましても、それらの経験も踏まえまして、30～35%くらいの回答が得られれば標準かというような認識を持っておりました。その3割については、調査開始させていただいて最初の1週間目で到達しておりましたので、その後たくさんの方の回答を頂いて、一応締め切りとさせていただいた17日を超えても、20日には207名の方に回答をしていただいています。実は電話があつて、「今から出すけど良いか？」というお問い合わせもありますので、まだまだこれから回答が来るということであれば、非常に高い回収率を得られるのではないかと認識しております。

委員長：よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか？

岡委員：207件というのが集計で出ているという事は、3,600の回収分にほぼスライドできるような傾向を示すものとして出されたと考えてよいのですか。それとも、たまたま得られたもので、結果は全部開けないと分からないのか。もしそうであれば、こんなもの下手に出される方が迷惑で仕方がないです。我々が無駄なことをやっていることとなりますので、お願いします。

事務局：すみません。申し訳ございませんでした。この207件の集計で、全体を推計化するというのは、非常に難しいことだと思われまます。まだ3,500の回答が未集計で残っておりますので、とりあえず今回は、現段階での集計のご報告ということで捉えていただいて、この数字を基に何かを今後進めていくということではなく、最終的な数字をもって、改めて次回ご報告をさせていただくということで、お願いいたします。

岡委員：参考にしてください、ということですね。

委員長：議事というよりは、現時点での報告で出した方が良かったのかもしれないね。最初にもご説明ございましたけれども、また次回、9月末くらいに、この会議が開かれると思いますので、その時点での全数から、クロス集計を交えて、またご報告いただけるという理解でよろしいでしょうか。

事務局：はい。

委員長：その時点で、誰からも返事が来ていない地域があれば、対策を考えていただくということで、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

(4) その他

委員長：それでは最後(4)その他について、何かございますか。

それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

一点だけすみません。先程3つ目に出てきた交通手段の5ページの一番下の棒グラフの「電車(近鉄戦)」の「戦」は誤変換だと思います。

泉谷委員：あと、4ページの円グラフの「自動者運転免許」の「者」ですね。

委員長：そうですね、「車」にしないといけないですね。ありがとうございました。

事務局：すみません。

委員長：ありがとうございました。以上で全て終了ですので、進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。

4 閉会

事務局：ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、第2回第8期平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

(閉会)